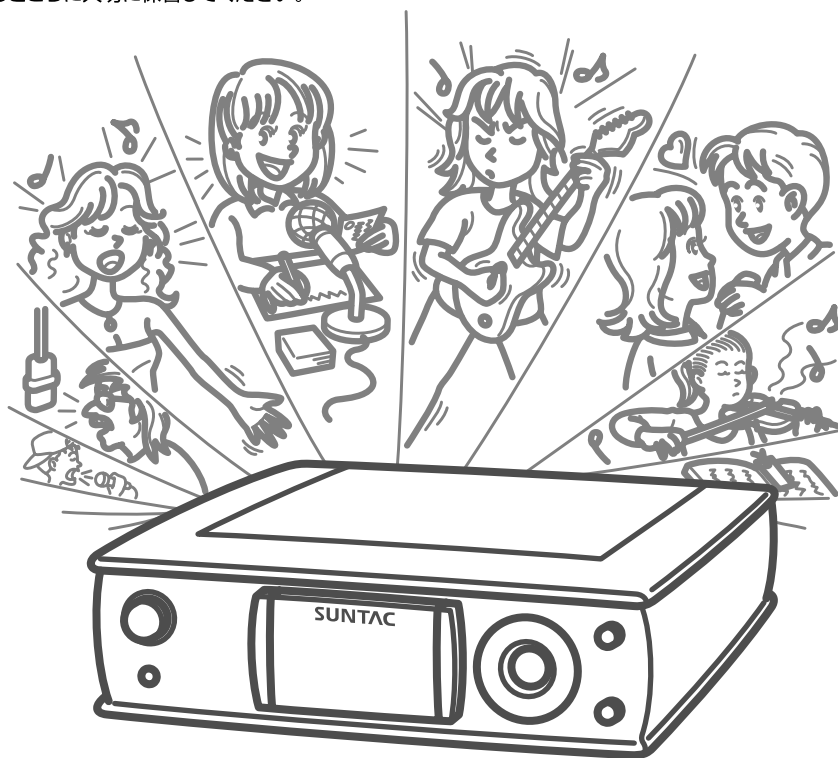
SUNTAC

BiBio wGate

取扱説明書

このたびはBiBio wGateをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書はお客様にBiBio wGateを安全で正しくお使いいただくためのものです。
BiBio wGateをお使いになる前に、必ず本書をよくお読みください。
お読みになった後は、BiBio wGateをお使いになる方がいつでも読むことができるところに大切に保管してください。

BiBioホームページアドレス http://bibio.jp/
サン電子ホームページアドレス http://www.sun-denshi.co.jp/

はじめに

このたびは BiBio wGate をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

BiBio wGateは、インターネットで配信されるラジオ番組やローカルネットワーク上のMP3ファイルをストリーミング形式で再生するデジタルオーディオプレーヤーです。

本書には、BiBio wGate を安全に正しくお使いいただくための内容が記載されています。ご使用の前に、必ず本書をよくお読みください。

また、お読みになった後は、BiBio wGate をお使いになる方がいつでも見られるよう、大切に保管してください。

※本書では、BiBio wGateを「本機」と記述しています。
　あらかじめご了承ください

本書について

- 本書の内容の一部、または全部を無断で転記することは、固くお断りします。
- 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- ご愛用登録カードはアフターサービスに必要なため、各事項をご記入の上必ず返信してください。
- 乱丁、落丁はお取替えいたします。
- 本書に記載されているハードウェアもしくはソフトウェアの名称は、各社の商標、もしくは登録商標です。

安全にお使いいただくために

ご使用の前には、この「安全にお使いいただくために」をよく読み、本機を正しく安全にお使いください。ここに示された注意事項は、お使いになる方や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

本書に使用している記号について

- 本書では、安全にお使いいただくためにいろいろな警告シンボルや、絵表示を使用しています。
- 次の表示区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠ 危険	**この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。**
⚠ 警告	**この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。**
⚠ 注意	**この表示は、取り扱いを誤った場合、「障害を負う可能性が想定される場合、及び物的損害の発生が想定される」内容です。**

- 次の絵表示は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	**「禁止」** 禁止（してはいけないこと）を示します。	分解禁止	**「分解禁止」** 分解してはいけないことを示す記号です。
水ぬれ禁止	**「水ぬれ禁止」** 水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。	ぬれ手禁止	**「ぬれ手禁止」** 濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
指示	**「指示」** 強制（必ず実行していただくこと）を示します。	電源プラグを抜く	**「電源プラグを抜く」** 電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

- 次の絵表示は、本書の参考事項や補足事項を説明しています。

MEMO	**操作に関する説明やヒント、知っておいていただきたいこと、覚えておくと便利なことなどが書かれていることを示す記号です。**

本機の取り扱いについて

⚠危険

本機に使用する AC アダプタは、付属のものをご使用ください。
付属以外の AC アダプタを使用した場合、火災、故障の原因となります。

⚠警告

本機は一般家庭向け商品として設計されています。幹線通信機器や、業務の中心となるコンピュータシステム、人命に直接関わる医療機器のような極めて高い信頼性および安全性必要とされる機器には接続しないでください。

本機は屋内での使用を前提に設計されています。屋外では使用しないでください。
雨、ちり、ほこりなどによって、火災、感電、故障の原因となります。

ガソリンスタンドなど、引火、爆発のおそれがある場所では使用しないでください。
プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵が発生する場所で使用すると、爆発、火災の原因となります。

端子部、CF カード挿入口、放熱用穴に針金などの異物を挿入しないでください。
火災、感電、故障の原因となります。

本機に無線 LAN カードを装着した場合、高精度な制御や微弱な信号を扱う電子機器の近くでは使用しないでください。
電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

本機を分解して内部の部品に触れないでください。
感電するおそれがあります。また故障の原因にもなります。この場合は保証期間であっても保証範囲外となりますので、ご注意ください。

本機に改造を行わないでください。
火災、感電のおそれがあります。また故障の原因にもなります。この場合は保証期間であっても保証範囲外となりますので、ご注意ください。

水が直接かかる場所や高温多湿で結露しやすい場所では使用しないでください。
火災、感電、故障の原因となります。

万一、異常な臭いがしたり、発熱・発煙した場合は、ただちに使用をやめ、電源を切り、電源コンセントから AC アダプタを抜いてください。その後、お買い上げの販売店、または当社までご相談ください。そのまま使用すると、火災、故障の原因となります。

本機の内部に水などの液体が入った場合は、ただちに使用をやめ、電源を切り、電源コンセントから AC アダプタを抜いてください。その後、お買い上げの販売店、または当社までご相談ください。そのまま使用すると、火災、故障の原因となります。

内部に異物（金属類や燃えやすい物、ほこり等）が入らないようにしてください。
火災、感電、故障の原因となります。

乳幼児の手の届かないところで使用してください。
感電したり、けがをするおそれがあります。

赤外線ポートから発信される赤外線を見ないでください。
目に悪影響を与えるおそれがあります。

⚠注意

本機の放熱用穴をふさがない様に設置してください。
発熱、故障、異常動作の原因となります。

直射日光の強いところや高温な場所では使用しないでください。
発熱、変形、故障の原因となります。

発熱する器具の近くでの使用はさけてください。
発熱、故障、変形の原因となります。

静電気や磁界強度の強い場所での使用はさけてください。
故障の原因となります。

振動の加わる場所での使用はさけてください。
破損、故障の原因となります。

禁止	強い衝撃を与えたり、落したりしないでください。 破損、故障の原因となります。
禁止	ぐらついた台の上や傾いた場所等、不安定な場所には置かないでください。 落下により、けがや破損、故障の原因となります。
禁止	端子部分には無理な力を加えないでください。 破損の原因となります。
禁止	電子機器の使用が制限されている場所では使用しないでください。

ACアダプタの取り扱いについて

⚠危険

指示	指定の AC アダプタを使用してください。 付属以外の AC アダプタを使用した場合、火災、故障の原因となります。

⚠警告

禁止	本機及びコンセントに AC アダプタを接続した状態で、AC アダプタを布で覆ったり、包んだりしないでください。 熱がこもり、火災、故障の原因となります。
禁止	電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。 発火や故障の原因となります。
禁止	AC アダプタのコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。 感電、発煙、火災の原因となります。
ぬれ手禁止	ぬれた手で AC アダプタのコード、コンセントに触れないでください。 感電の原因となります。

電源プラグを抜く	長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。 火災、故障の原因となります。
指示	AC アダプタをコンセントに差し込むときは、針金などの金属類が触れないように注意し、確実に差し込んでください。 感電や火災、発煙の原因となります。
指示	プラグについたほこりは、ふき取ってください。 火災の原因となります。

⚠注意

禁止	AC アダプタのコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。 感電や火災の原因となります。
電源プラグを抜く	お手入れは、コンセントやソケットからプラグを抜いて、行ってください。 感電の原因となります。
指示	ACアダプタをコンセントやソケットから抜く場合は、ACアダプタのコードや電源コードを引っ張らず、プラグを持って抜いてください。 コードを引っ張ると、コードが傷つき、感電や火災の原因となります。

使用上のご注意

著作権について

音楽、音声などは著作権法により、その著作物及び著作者の権利が保護されています。著作物を個人的に又は家庭内などで使用する目的以外に、著作者の了解なく複製や編集、及び使用した場合には、著作権法を侵害することになり、損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがありますので、ご注意ください。

ご使用にあたって

● 本機を使用した結果の影響、誤ったお取り扱いで生じた不具合、第三者からの損害賠償の請求等については、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

● 本機の故障及び修理による設定値、プリセット内容の消失については、当社では一切その責任を負いませんので、ご了承ください。

● お客様又は、第三者が本機を正しく使用しなかった場合、又は本機が電気的な影響を等を受けた場合は、メモリ内容が変化あるいは消失するおそれがあります。

● 本機は「日本国内でのみ使用可能」です。
海外では規格が異なるため使用できません。

● 無線 LAN カードの使用上の注意、取り扱いについては、無線 LAN カードの取扱説明書をご参照ください。

VCCI について

本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＡ情報技術装置です。

本機を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。

この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

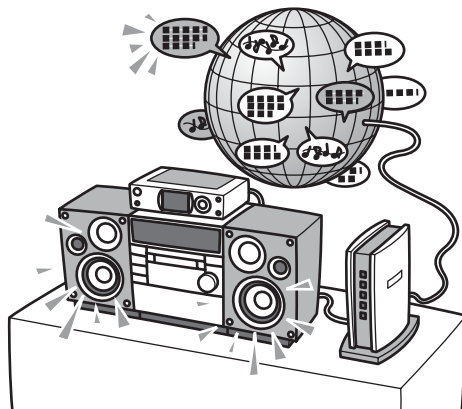
目次

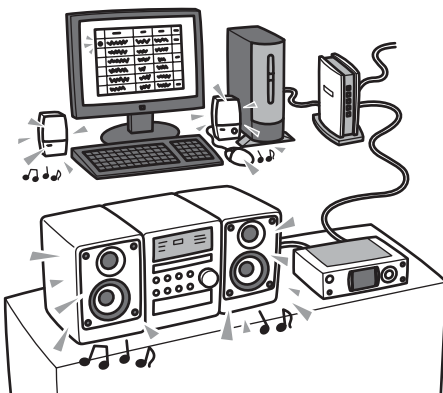
本機の機能と特長

本機は、インターネットラジオとローカルネットワークプレイの2つの機能でMP3形式のファイルをストリーミング再生できます。

また、無線LANカードや市販の学習リモコンにも対応することができます。

インターネットラジオ

インターネットラジオで配信されているMP3形式のファイルをストリーミング再生することができます。

ローカルネットワークプレイ

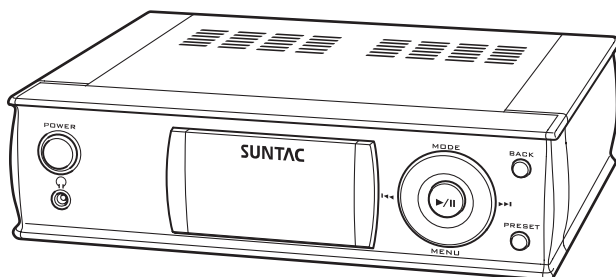
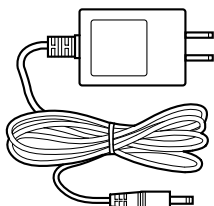
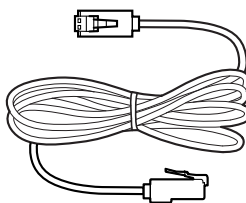
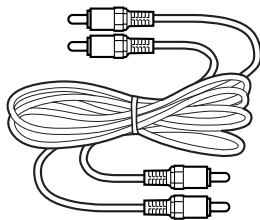
ローカルネットワーク上のストレージデバイスにある、MP3形式のファイルを再生します。この機能により、家庭内ネットワークミュージックプレーヤーとして使用することもできます。

無線LANカードの接続に対応

本機のネットワークインターフェースは、LANケーブルによる有線方式のほかに、無線LANカードを使用した無線方式にも対応しており、配線による制限を受けずに本機を設置することが可能です。

市販の学習リモコンやiアプリ対応携帯電話からの操作が可能

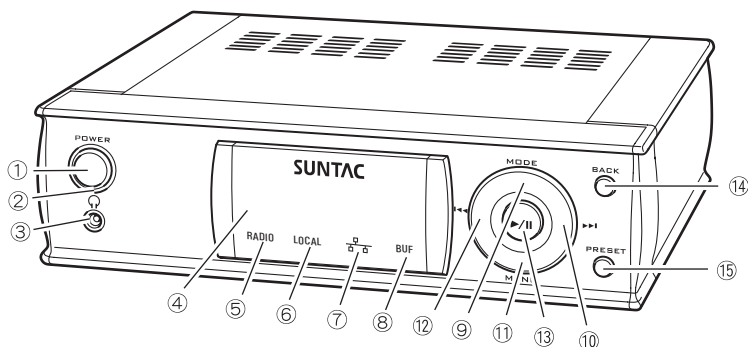
赤外線リモコンインターフェースを搭載しているので、市販の学習リモコンや、iアプリ対応の携帯電話での操作も可能です。

セット内容を確認する

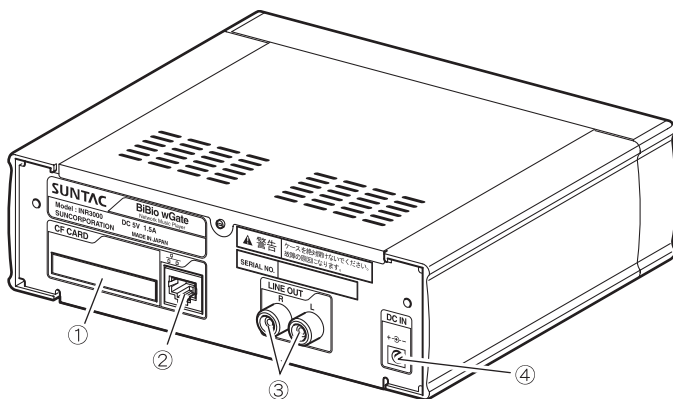
お買い求めいただいた BiBio wGate のセット内容は以下のとおりです。
ご使用前にこれらのものがすべて揃っているかをご確認ください。

BiBio wGate 本体

AC アダプタ

LAN ケーブル

ピンケーブル

取扱説明書（本書）

各部の名称と機能

前面パネル

①	電源ボタン	電源をON／OFFします。
②	POWERインジケータ	電源ON時　青色で点灯します。
		電源OFF時　オレンジ色でゆっくり点滅します。
③	ヘッドホン出力端子	ヘッドホンで聴くときにヘッドホン端子を差し込みます。
④	液晶画面	各種情報を表示します。
⑤	インターネットラジオモードインジケータ	インターネットラジオモードの選択時に点灯します。
⑥	ローカルネットワークプレイモードインジケータ	ローカルネットワークプレイモードの選択時に点灯します。
⑦	LANインジケータ	LANの接続が確立したときに点灯します。 データの送受信中は点滅します。
⑧	バッファリングインジケータ	インターネットラジオモードでバッファリング中に点滅します。再生用のデータが十分にバッファリングされているときはゆっくりと点滅し、バッファリングされたデータ量が少なくなると点滅が早くなります。
⑨	MODEボタン	インターネットラジオモードとローカルネットワークプレイモードを切り替えます。
⑩	▶▶❚（スキップ）ボタン	MP3ファイル、フォルダ、インターネットラジオ番組や設定項目などを選択します。
⑪	MENUボタン	インターネットラジオモードではTOP MENU画面を表示します。ローカルネットワークプレイモードでフォルダ表示中に押したときはフォルダ内に移動します。MP3ファイルを再生しているときは機能しません。 どちらのモードでも再生停止中に2秒以上長押しすると設定モード画面に切り替わります。

⑫	▌◀◀（バックスキップ）ボタン	MP3ファイル、フォルダ、インターネットラジオ番組や設定項目などを選択します。
⑬	▶/❚❚（PLAY）ボタン	選択した放送局、ジャンル、グループ、ラジオ番組やフォルダ、MP3ファイルを決定します。 MP3ファイルの再生中に押すと一時停止します。 ローカルネットワークプレイモードでは、フォルダの表示中に押すと、そのフォルダから2階層下までにあるMP3ファイルを再生します。
⑭	BACKボタン	インターネットラジオモードでは一つ前の画面に戻ります。 ローカルネットワークプレイモードでは一つ上のフォルダ階層に移動します。
⑮	PRESETボタン	短押しで登録されているラジオ番組やフォルダを表示します。 長押しでプリセット登録画面を表示します。

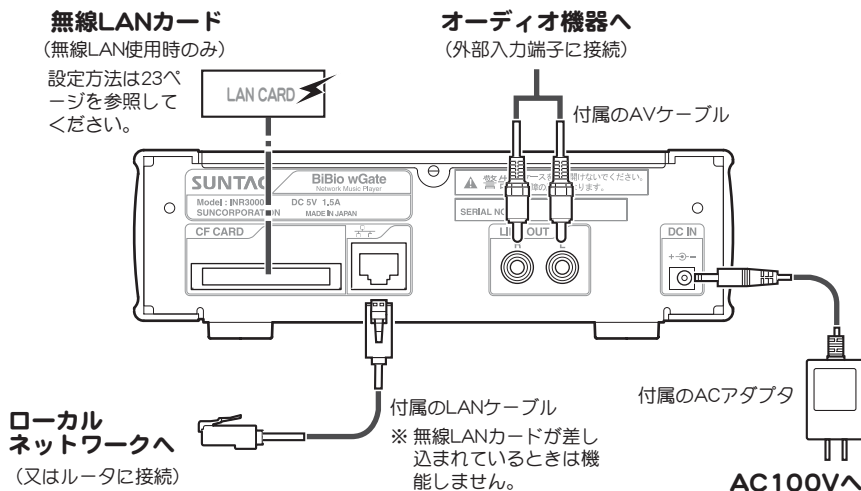
背面パネル

①	CF（コンパクトフラッシュ）カード差込口	無線LANカードを差し込みます。
②	LANケーブル差込口	LANケーブルを差し込みます。
③	オーディオ出力端子	ピンケーブルを差し込みます。
④	AC電源入力端子	付属のACアダプタを差し込みます。

接続の詳細については、『 本機を接続する（P.5）』を参照してください。

本機を接続する

本機と周辺機器の接続

本機と周辺機器は下図を参考にして接続してください。

ケーブル類は付属品を使用することをお勧めします。

電源の投入方法

接続が完了したら、電源を入れます。

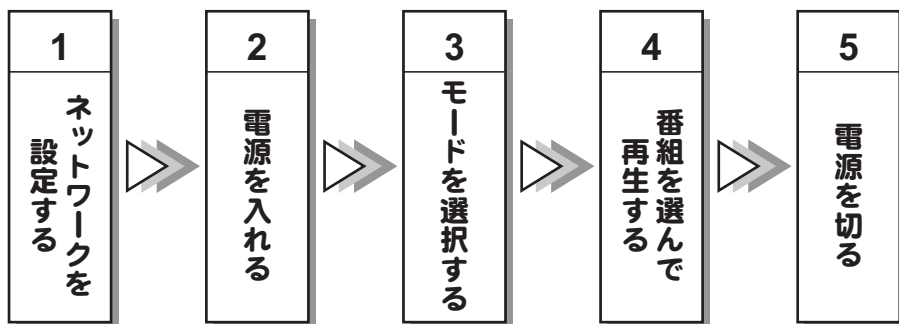
ネットワークストレージが接続されている場合は、はじめにストレージ側（NASやパソコン）の電源を入れ、その後、本機の電源を入れます。

⚠警 告　オーディオの電源を入れるときはボリュームを絞っておいてください。突然大きな音が出ることがあります。

⚠注 意　電源の投入の順序を守ってください。ストレージ側より本機の電源を先に入れた場合、ネットワークストレージを認識しないことがあります。

MEMO　NAS（Network Attached Storage）などのネットワーク上に存在するドライブや、ネットワーク上で共有できるパソコンのドライブなどを、ネットワークストレージと呼びます。
ネットワークストレージに関する設定についてはNAS、パソコンなどのユーザーズマニュアルを参照してください。また、NASの様にネットワークストレージとして使用できるものでも、パソコンのOSに特化した方式のものがあり、本機はこれらのネットワークストレージには対応しておりません。ご注意ください。
使用できるネットワークストレージについてはBiBioホームページ（http://bibio.jp）にてご確認ください。

操作の流れを理解しよう

インターネットラジオモードの操作の流れは以下のとおりです。

1 ネットワークを設定する

本機の接続を確認します。
サーバがDHCPを使用しない場合の詳細については、『ネットワークを設定しよう（P.22）』を参照してください。無線LANカードの設定の詳細については、『無線LANカードを設定しよう（P.23）』を参照してください。

2 電源を入れる

電源ボタンを押します。BiBio wGateが起動します。
LANの接続が確立されると液晶画面下のLANインジケータが点灯します。
初めてお使いになるときはインターネットラジオモードのTOP MENU画面が表示されます。その後は、前回電源を切ったときのモードで起動します。

3 モードを選択する

MODEボタンを押してインターネットラジオモードを選択します。
インターネットラジオモードが選択されるとインターネットラジオモードインジケータが点灯します。
液晶画面にTOP MENU画面が表示されます。

4 番組を選んで再生する

I◀◀ボタンや▶▶Iボタンを押して放送局、ジャンル、グループから希望のものを選択し、▶/IIボタンで決定します。希望のラジオ番組が見つかったときは▶/IIボタンを押すとバッファリングを行い、ラジオ番組の再生を開始します。
画面は再生画面に切り替わります。

MEMO ラジオ番組を変更するときは、I◀◀ボタンや▶▶Iボタンを押してラジオ番組選択画面に戻ります。

MEMO お気に入りのラジオ番組を登録することができます。詳細については、『よく聴くラジオ番組やフォルダを登録しよう（プリセット登録）（P.14）』を参照してください。

5 電源を切る

電源ボタンを押します。

インターネットラジオ番組を再生しよう

画面表示の意味

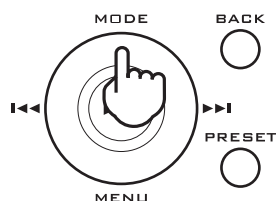
インターネットラジオの階層とボタン操作

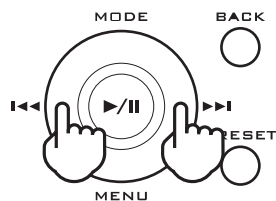
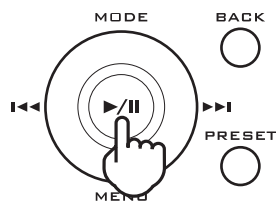
インターネットラジオモードの画面遷移は以下のとおりです。（2004年11月現在）
表示内容はサーバ側で更新されることがあります。

※1　RANDOMを選択した場合、サーバより無作為にラジオ番組を選択します。

※2　1つのジャンルにラジオ番組が20個以下の場合は、グループを表示しません。

インターネットラジオ番組を選局する

1 MODEボタンを押してインターネットラジオモードに切り替えます。

TOP MENU 画面にインターネットラジオの放送局名が表示されます。

2 I◀◀ボタンまたは▶▶Iボタンを押して希望の放送局を探します。

3 放送局を決定するときは ▶/II ボタンを押します。
ジャンルが表示されます。
上の階層に戻るときはBACKボタンを押します。

4 2 - 3の操作と同様に、ジャンル、グループ、ラジオ番組を選択します。

ラジオ番組を選択すると、[CONNECTING...] が表示された後、ラジオ番組名が表示されてストリーミング再生を開始します。
ストリーミング再生中はラジオ番組名と曲名を交互に表示します。

MEMO 曲名は曲名データがあるときのみ表示されます。
ラジオ番組名や曲名が画面表示に収まらないときは、右から左へスクロール表示されます。

インターネットラジオ番組を変更する

■インターネットラジオモードの TOP MENU 画面から選局する

MENUボタンを押すと再生を中止し、インターネットラジオモードのTOP MENU画面に移ります。

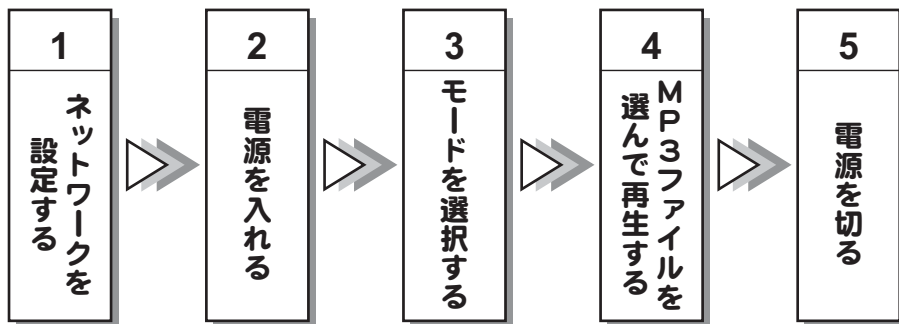
■今聞いているラジオ番組の階層に戻って選局する

BACK ボタンを押すと再生を中止し、今聞いていたラジオ番組があるフォルダの内容を表示します。

MEMO インターネット上には数多くのインターネットラジオ番組があり、各ラジオ番組から配信される放送や楽曲のビットレートには高低さまざまなものがあります。
一般に、ビットレートが高ければ高いほど高音質になりますが、データ量が多くなるため、通信回線やサーバーの混雑具合によっては、ストリーミング再生している音楽や音声が途切れやすくなります。
逆にビットレートが低ければ音質は低下しますが、音楽や音声は途切れにくくなります。

操作の流れを理解しよう

ローカルネットワークプレイモードを使用するときはデータが格納されているフォルダを本機にあらかじめ設定する必要があります。
詳細については、『ローカルネットワーク上にあるストレージを設定しよう（P.24）』を参照してください。

ローカルネットワークプレイモードの操作の流れは以下のとおりです。

1 ネットワークを設定する

本機の接続を確認します。
サーバがDHCPを使用しない場合の詳細については、『ネットワークを設定しよう（P.22）』を参照してください。無線LANカードの設定の詳細については、『無線LANカードを設定しよう（P.23）』を参照してください。

2 電源を入れる

はじめに、ネットワークに接続されたネットワークストレージの電源を入れ、その後、本機の電源ボタンを押します。
LANの接続が確立されると液晶画面下のLANインジケータが点灯します。
初めてお使いになるときはインターネットラジオモードのTOP MENU画面が表示されます。その後は、前回電源を切ったときのモードで起動します。

3 モードを選択する

MODEボタンを押して、ローカルネットワークプレイモードを選択します。
ローカルネットワークプレイモードが選択されると、ローカルネットワークプレイモードインジケータが点灯します。
液晶画面に、あらかじめ設定した共有フォルダ選択画面が表示されます。

4 MP3ファイルを選択する

MENUボタンを押してフォルダの内容を表示させ、I◀◀ボタンや▶▶Iボタンを押してフォルダやMP3ファイルを選択し、▶/IIボタンを押して再生を開始します。

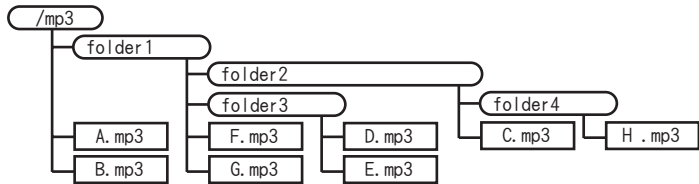
5 電源を切る

電源ボタンを押します。

MP3 ファイルを再生しよう

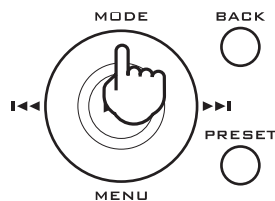
画面表示の意味

フォルダ階層とボタン操作

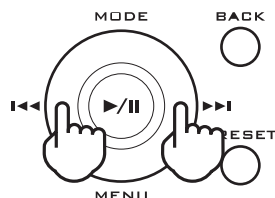
ローカルネットワークプレイモードの画面遷移は以下のとおりです。
ここでは、以下のフォルダ構成の場合について説明します。

※1 folder1 を表示しているときに ▶/II を押すと、C～G.mp3を再生します。

※2 A.mp3 を表示しているときに ▶/II を押すと、A.mp3とB.mp3を交互に再生します。

MP3 ファイルを再生する

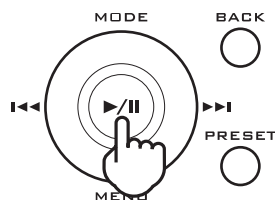
1 MODEボタンを押してローカルネットワークプレイモードに切り替えます。

あらかじめ設定した共有フォルダ選択画面が表示されます。

MEMO 共有フォルダの設定の詳細については、『ローカルネットワーク上にあるストレージを設定しよう（P.24）』を参照してください。

2 I◀◀ボタンや▶▶Iボタンを押して共有フォルダを選択し、MENUボタンを押します。

選択した共有フォルダ内のフォルダやMP3ファイルを表示します。

3 I◀◀ボタンや▶▶Iボタンを押してフォルダやファイルを選択します。

MEMO 1階層下の内容を表示させるときはMENUボタンを押します。
1階層上の内容を表示させるときはBACKボタンを押します。

4 再生したいMP3ファイルやフォルダで▶/IIボタンを押します。

PLAYが表示され、MP3ファイルの再生を開始します。

MEMO フォルダを表示させた状態で再生を開始したときは、そのフォルダ以下2階層までのMP3ファイルをすべて再生します。
MP3ファイルを表示させた状態で再生を開始したときは同一階層内のMP3ファイルをすべて再生します（ただし、最大99フォルダ、99ファイルまで）。いずれの場合も、停止操作を行うまで繰り返して再生します。

同フォルダ内の別の MP3 ファイルを再生する

MP3 ファイルの再生中に次のファイルを再生するときは ▶▶▮ ボタンを押します。
前の曲を再生するときは ▮◀◀ ボタンを押します。

再生を停止する

▶/II ボタンを押します。

フォルダを移動する（異なるフォルダにあるファイルを再生する）

再生中のときは再生を停止します。
BACKボタンを押すと1つ上の階層に移動します。
フォルダ選択中にMENUボタンを押すと1つ下の階層に移動します。
▮◀◀ ボタンまたは ▶▶▮ ボタンを押してフォルダやMP3ファイルを選択します。

よく聴くラジオ番組やフォルダを登録しよう（プリセット登録）

ご使用になる前に
インターネットラジオ番組を再生する
MP3ファイルを再生する
便利な使い方
いろいろな設定
付録

お気に入りのインターネットラジオモードのラジオ番組や、ローカルネットワークプレイモードのフォルダは本機に登録することができ、各モードのTOP MENU画面から探す手間が省けます。（プリセット登録）。

MEMO ローカルネットワークプレイモードのプリセットは、MP3ファイルを直接指定することはできません。MP3ファイルが格納されているフォルダを指定します。

MEMO 市販の学習リモコンをお使いの場合、リモコンから登録することができます。詳細については、『市販の学習リモコンやｉアプリ対応携帯電話で操作しよう（P.16）』を参照してください。

お気に入りのラジオ番組やフォルダを本機に登録する

1 登録したいラジオ番組やフォルダを選択します。

2 PRESETボタンを2秒以上長押しします。

プリセット登録画面に切り替わります。
登録を中止するときはBACKボタンを押して、再生画面に戻ります。

MEMO プリセットは各モードで10個まで登録できます。

3 I◀◀ ボタンまたは ▶▶I ボタンを押して、登録したいプリセット番号を選択します。

4 ▶/II ボタンを押します。

選択したプリセット番号にラジオ番組やフォルダが登録されます。

ラジオ番組やフォルダをプリセットから選択する

1 PRESETボタンを押します。

2 プリセット登録したラジオ番組やフォルダの一覧が表示されるので、I◀◀ ボタンまたは ▶▶I ボタンを押してラジオ番組やフォルダを選択します。

3 ▶/II ボタンを押します。

ラジオ番組やフォルダが決定され、インターネットラジオモードではラジオ番組の再生が開始されます。ローカルネットワークプレイモードでは選択したフォルダが表示されます。

登録したラジオ番組やフォルダを変更する

1 登録したいラジオ番組やフォルダを選択します。

2 PRESET ボタンを2秒以上長押します。
プリセット登録画面に切り替わります。

3 I◀◀ ボタンまたは ▶▶I ボタンを押して、変更したいプリセット番号を選択します。

4 ▶/II ボタンを押します。
選択したプリセット番号に、新しいラジオ番組やフォルダを上書きします。

登録したラジオ番組やフォルダを消去する

この操作は本機から行うことができません。
パソコンの設定フォーム画面から行ってください。
本操作の詳細については、『 プリセット登録をしよう（P.21)』を参照してください。

MEMO ローカルネットワークプレイモードのプリセットはパソコンのフォーム画面からも消去することができません。この場合は本機の初期化を行ってください。

市販の学習リモコンやiアプリ対応携帯電話で操作しよう

市販の学習リモコンに本機の機能を登録することで、本機をリモコン操作することができます。
また、NTTドコモの505i,900i(FOMA)シリーズと、それ以降の赤外線通信搭載の機種は、本機に対応したBiBio専用リモコンとしてご使用いただくことができます。

学習リモコンへの登録

ここでは、市販の学習リモコンが登録可能な状態にあることを前提に説明します。
学習リモコンの使用方法については、学習リモコンの説明書を参照してください。

1 MENUボタンを2秒以上長押しして、設定メニュー画面を表示します。

2 設定メニュー画面で［リモコン信号］を表示させ、►/II ボタンを押します。

3 「リモコン信号送出」を表示させ、►/II ボタンを押します。

4 登録したい信号を選択します。

登録できる信号は以下のとおりです。

電源オン／オフ	右
モード切替	左
メニュー	表示切替
戻る／キャンセル	プリセット 1 ～ 10
再生／停止	プリセット登録

5 学習の準備をします。

学習リモコンを受信できる状態にします。
学習リモコンを本機液晶画面から水平に5cm～10cm程離して固定します。
リモコン信号送信部は液晶画面の右下部にあります。

6 ►/II ボタンを押します。

本機から学習リモコンに信号を送信し、学習させます。

7 BACKボタンを押して1つ前のメニューに戻します。

正しく登録できたか確認します。

8 「リモコン信号受信」を表示させ、►/II ボタンを押します。

「待機中…」と表示されます。

9 手順6で学習させた信号を学習リモコンから送信します。

正しく登録できたときは、それぞれの機能に対応した文章が本機の液晶画面に表示されます。

MEMO 登録が終了するまで、学習リモコンを動かさないでください。
登録エラーが頻繁に起こる場合は、照明などによるノイズの影響が考えられます。
学習リモコンの受信部を本機送信部に近づける、照明を消す、場所を変えるなど

の対応で再度登録を行ってください。
学習リモコンの機種によっては機能の登録ができない場合もあります。

学習リモコンからのプリセット登録

1 登録したいラジオ番組やフォルダを選択します。

2 学習リモコンの「プリセット登録」ボタンを押します。

MEMO お使いの学習リモコンによって、ボタン表示が異なります。

3 登録したいプリセット番号（1～10）を押します。
指定した番号にラジオ番組やフォルダが登録されます。

MEMO プリセット登録の詳細については、『よく聴くラジオ番組やフォルダを登録しよう（プリセット登録）（P.14）』を参照してください。

i アプリ専用 BiBio リモコンについて

詳しくはBiBioのi-mode専用ホームページ(http://bibio.jp/i/)を参照してください。

本機の設定を行う前に

本機の設定及び各種情報の表示は、本機又はパソコンのブラウザを起動して設定フォーム画面から行うことができます。
設定及び表示できる内容は、下表のとおりです。

設定・表示項目	設定フォーム画面	本機キー操作及び表示
現在再生している曲の内容	○ （20 ページ）	○
プリセット登録	○ （21 ページ） インターネットラジオモードのみ	○
ネットワークの設定	○ （22 ページ）	○
無線LANカードの設定	○ （23 ページ）	○
ローカルネットワーク上にあるストレージの設定	○ （24 ページ） 最大３箇所登録可能	○ １箇所のみ登録可能
機器情報	○ （27 ページ）	○
初期化	○ （28 ページ）	○
ログイン情報の設定	○ （29 ページ）	−
詳細設定（高度な設定）	△ （30 ページ）	△
ヘッドホン音量の設定	−	○ （31 ページ）
表示濃度	−	○ （31 ページ）
バックライトの明るさ	−	○ （32 ページ）
スクロール速度	−	○ （32 ページ）
バージョンアップ	−	○ （33 ページ）

本機からの設定

本機から設定を行う場合は、設定メニュー画面から行います。
設定メニュー画面を表示させるには、MENUボタンを2秒以上長押しします。

設定フォーム画面からの設定

■設定フォーム画面を起動する前に

設定フォーム画面を利用する場合は、以下の環境が整っているか確認してください。

- 本機とパソコンが同一のローカルネットワーク上にあること。
- ローカルネットワークがインターネットに接続していること。
- プロキシサーバを使用していないこと。

なお、パソコンの設定フォーム画面から設定や表示を行うときは、本機の電源を入れたままにしてください。

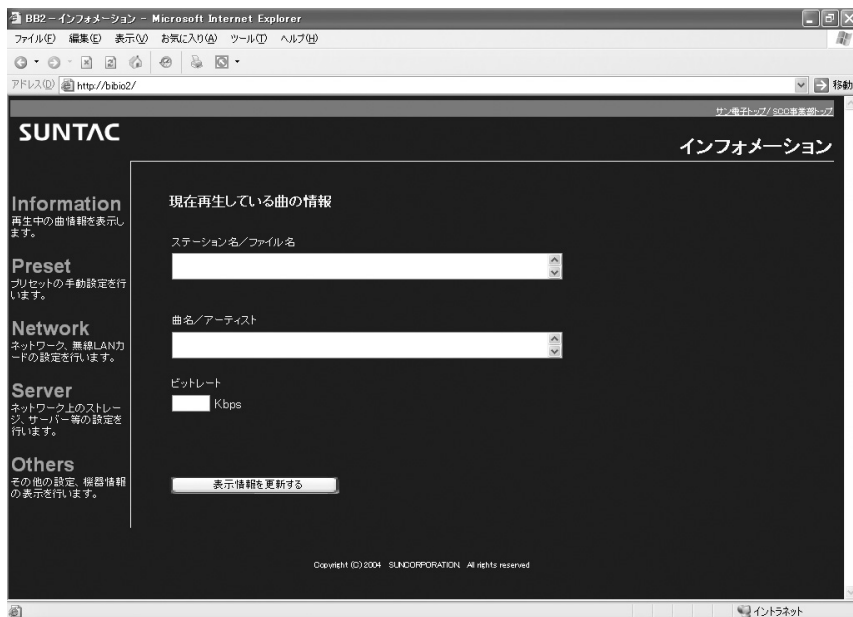
■設定フォーム画面の起動

◆起動方法

1 パソコンのブラウザを起動します。

2 アドレスバーにbibio2と入力し、Enterキーを押します。
アドレスがhttp://bibio2/となり、設定フォーム画面が表示されます。

MEMO パソコンによってはアドレスバーにbibio2と入力しても表示されないものがあります。その場合は本機のIPアドレスを直接入力してください。(例：192.168.1.10)

MEMO 本機のIPアドレスは、設定メニュー画面より「ネットワークの設定」－「IPアドレス」で確認してください。

◆パスワードとログイン

メニューのInformation以外を操作するときには、ログインする必要があります。

1 Preset、Network、Server、Othersをクリックすると、ログイン画面が表示されます。

2 ユーザー名とパスワードを入力します。

MEMO 初期状態のユーザー名は「admin」です。パスワードは設定されていません。

◆ユーザー名とパスワードの変更

詳細については、『ログイン情報を設定しよう (P.29)』を参照してください。

現在再生している曲の情報を表示しよう

本機からの表示

本機の液晶画面に、再生中の番組名や曲名、アーティスト名が表示されます。

MEMO 曲名やアーティスト名はデータがあるときのみ表示されます。

設定フォーム画面からの表示

1 Informationをクリックします。

インターネットラジオモードで再生中のラジオ番組名、曲名が表示されます。
ローカルネットワークプレイモードでは再生中のファイル名、曲名、アーティスト名が表示されます。

MEMO 曲名やアーティスト名はデータがあるときのみ表示されます。

プリセット登録をしよう

お好みのインターネットラジオ番組やローカルネットワークのフォルダを各モードで10個まで登録することができます。
登録したラジオ番組を変更、削除することもできます。

本機からの設定

詳細については、『よく聴くラジオ番組やフォルダを登録しよう（プリセット登録）(P.14)』を参照してください。

設定フォーム画面からの設定

設定フォーム画面からはインターネットラジオモードのみ設定が可能です。
ローカルネットワークプレイモードのプリセット登録・修正・消去はできません。

■インターネットラジオ番組を登録する（プリセット登録）

1 Presetをクリックします。

2 Station名に番組名を入力します。
ここで入力した番組名が本機の液晶画面で表示されます。

3 URLに番組のアドレスを入力します。

4 ［設定する］をクリックします。

■登録してあるプリセットを変更・消去する

1 Presetをクリックします。

2 登録内容を変更するときはStation名、URLに新しい内容を入力します。
登録を消去するときは、Station名、URLに入力されている入力内容を削除します。

3 ［設定する］をクリックします。

ネットワークを設定しよう

インターネットラジオの設定でDHCPサーバを使用しないときは、本設定でIPアドレスなどを設定します。

MEMO 通常、ブローバンドルータを購入してお使いの場合は、初期値が「DHCPを使用する」になっているため、この設定は不要です。サーバやルータの設定が不明の場合は、設置された方もしくはメーカにご確認ください。

本機からの設定

1 MENUボタンを2秒以上長押しして、設定メニュー画面を表示します。
2 設定メニュー画面で「ネットワークの設定」を表示させ、▶/II ボタンを押します。
3「DHCPクライアント」を表示させ、▶/II ボタン押します。
4「使わない」を表示させ、▶/II ボタンを押します。
5「IPアドレス」を表示させ、▶/II ボタンを押します。
6 IPアドレスを入力し、▶/II ボタンを押します。
設定を中止する場合はBACKボタンを押します。

MEMO 数値入力方法の詳細については、『本機で文字を入力する（P.34）』を参照してください。

7「サブネットマスク」を表示させ、▶/II ボタンを押します。
8 サブネットマスクを入力し、▶/II ボタンを押します。
9「ゲートウェイ」を表示させ、▶/II ボタンを押します。
10 ゲートウェイアドレスを入力し、▶/II ボタンを押します。
11「DNSアドレス」を表示させ、▶/II ボタンを押します。
12 DNSアドレスを入力し、▶/II ボタンを押します。
13 すべての入力が完了したらBACKボタンを2回押して終了します。

設定フォーム画面からの設定

1 Networkをクリックします。
2 ネットワークの設定で「DHCPサーバを使用する」のチェックを外します。
3 プロバイダまたはサーバの管理者より与えられた IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウエイ、DNSサーバーを入力します。
4［設定する］をクリックします。

無線LANカードを設定しよう

LANケーブルの代わりに無線LANカードを使用するときは、LANカードの設定を行う必要があります。
動作確認済みのLANカードについては、BiBioホームページ（http://bibio/jp）でご確認ください。

本機からの設定

1 MENUボタンを2秒以上長押しして、設定メニュー画面を表示します。

2 設定メニュー画面で「無線LANの設定」を表示させ、▶/II ボタンを押します。

3 「ESS-ID」を表示させ、▶/II ボタンを押します。

4 ESS-IDを入力したら、▶/II ボタンを押して設定します。

5 「暗号(WEP)の設定」を表示させ、▶/II ボタンを押します。
無線LANで接続するルータやステーションの設定に合わせて設定します。
ルータやステーションに「WEP」の設定がされていない場合は「使わない」を選択し、▶/II ボタンを押します。

6 手順5で「使う」に設定した場合は、「暗号文字列」を表示させ、▶/II ボタンを押します。
手順5で「使わない」に設定した場合は手順8へ進みます。

7 暗号文字列を入力したら、▶/II ボタンを押します。
5文字（40bit）又は13文字（128bit）で入力してください。

8 「無線チャネル」を表示させ、▶/II ボタンを押します。

9 ご使用になるチャンネルを選択し、▶/II ボタンを押します。

設定フォーム画面からの設定

下の手順に従って無線LANの設定を行ってください。

1 設定フォーム画面を起動します。

2 Networkをクリックします。

3 無線LANカードの設定欄のESS-IDを入力します。

4 無線チャンネルはプルダウンメニューより1chから14chまでのうち、使用するチャンネルを選択します。

5 暗号化キーは「使う」または「使わない」にチェックを入れ、使う場合は暗号文字列を入力します。
5文字（40bit）又は13文字（128bit）で入力してください。

6 ［設定する］をクリックします。

ローカルネットワーク上にあるストレージを設定しよう

ローカルネットワークプレイモードでMP3ファイルを再生するには、はじめにローカルネットワーク上のMP3ファイルを格納した共有フォルダの所在を本機に設定する必要があります。

各種設定の確認

ネットワークストレージの設定を行う前には、IP アドレス・ホスト名・共有フォルダ名・ユーザ ID・パスワードを確認する必要があります。
各種設定の確認方法は以下のとおりです。

■ IP アドレスの確認

MEMO 通常はホスト名から自動的に IP アドレスを認識しますが、動作しない場合は、IP アドレスを設定してください。

◆ Windows XP の場合の IP アドレスを確認するには

1 「スタートボタン」-「コントロールパネル」を開きます。

2 「ネットワーク接続」をダブルクリックします。
「ネットワーク接続」のウインドウが開きます。

3 「ローカルエリア接続」アイコンをダブルクリックします。

4 「ローカルエリア接続の状態」のダイアログボックス内の「サポート」タブをクリックします。
IPアドレスが表示されます。

◆ Macintosh の場合の IP アドレスを確認するには

1 「システム環境設定」-「ネットワーク」-「内蔵Ethernet」を開きます。
「IPアドレス」が表示されます。
※ ここでは内蔵Ethernetを使用していることを前提にしています。

◆ NAS の場合の IP アドレスを確認するには

お使いのNASによって操作方法が異なります。
詳細についてはNASの説明書を参照してください。

■ホスト名の確認

◆ Windows XP の場合のホスト名を確認するには

1 「スタートボタン」-「コントロールパネル」を開きます。

2 「システム」アイコンをダブルクリックします。
「システムのプロパティ」内の「コンピュータ名」タブにある［フルコンピュータ名］がホスト名です。

◆ Macintosh の場合のホスト名を確認するには

1 「システム環境設定」-「共有」から、「コンピュータ名」を確認します。

◆ NAS の場合のホスト名を確認するには

お使いのNASによって操作方法が異なります。
詳細についてはNASの説明書を参照してください。

MEMO ホスト名が32バイト（半角で32文字）を超える場合はホスト名を変更してください。本機では32バイトを超えるホスト名を登録することができません。

■共有フォルダ名の確認

パソコンや NAS などに設定した共有フォルダの名称です。確認はパソコンなどで行ってください。

MEMO フォルダ名が32バイト（半角で32文字）を超える場合はフォルダ名を変更してください。本機では32バイトを超えるフォルダ名を登録することができません。

■ユーザ ID の確認

◆ Windows XP の場合のユーザ ID を確認するには

1 「スタートボタン」-「コントロールパネル」を開きます。

2 「ユーザーアカウント」アイコンをダブルクリックします。

「ユーザーアカウント」のウインドウが開き、アカウントが表示されます。
アカウント名が「ユーザID」です。

◆ Macintosh の場合のユーザ ID を確認するには

1 「システム環境設定」-「アカウント」から、「ユーザ名」を確認します。

◆ NAS の場合のユーザ ID を確認するには

お使いのNASによって操作方法が異なります。
詳細についてはNASの説明書を参照してください。

MEMO ユーザー IDが32バイト（半角で32文字）を超える場合はユーザー IDを変更してください。本機では32バイトを超えるユーザー IDを登録することができません。

■パスワードの確認

パソコンや NAS などにアクセスするためのパスワードです。忘れてしまった場合はそれぞれの機器のメーカにご相談ください。
パスワードを設定していない場合は空欄のままでかまいません。

MEMO パスワードが32バイト（半角で32文字）を超える場合はパスワードを変更してください。本機では32バイトを超えるパスワードを登録することができません。

本機からの設定

1 ネットワークストレージ側で共有フォルダの設定を行います。

MEMO 共有フォルダの設定をしていない場合は、本機がネットワークストレージを認識できません。

2 MENUボタンを2秒以上長押しして、設定メニュー画面を表示します。

3 設定メニュー画面で「ネットワークストレージの設定」を表示させ、▶/II ボタンを押します。

4 「IPアドレス」、「ホスト名」、「共有フォルダ」、「ID」、「パスワード」の各項目を入力します。

MEMO 文字入力方法の詳細については、『本機で文字を入力する（P.34）』を参照してください。

MEMO IP アドレスに「0.0.0.0」を設定すると、ホスト名から自動的に IP アドレスを取得し、接続することができます。自動接続ができない場合は、IP アドレスを設定してください。

設定フォーム画面からの設定

1 設定フォーム画面を起動します。

2 Serverをクリックします。

3 ホスト名、フォルダ名、IPアドレス、ユーザID、パスワードを入力します。

MEMO ネットワークストレージ側で共有フォルダの設定を行っておく必要があります。
共有フォルダの設定をしていない場合は、本機がネットワークストレージを認識できません。

MEMO 本機のキー操作で設定が行われている場合、そのネットワークストレージはネットワークドライブ 1 に登録されています。
本機のキー操作では 1 つのネットワークストレージしか設定できませんが、設定フォーム画面では 3 つまでのネットワークストレージが設定できます。

MEMO IP アドレスに「0.0.0.0」を設定すると、ホスト名から自動的に IP アドレスを取得し、接続することができます。自動接続ができない場合は、IP アドレスを設定してください。

機器情報を表示しよう

表示される内容は以下のとおりです。
・ファームウェアのバージョン
・MACアドレス
・製品番号

本機からの表示

1 MENUボタンを2秒以上長押しして、設定メニュー画面を表示します。

2 設定メニュー画面で「製品情報」を表示させ、▶/II ボタンを押します。
製品番号、MACアドレス、ファームウェアのバージョンが表示されます。

設定フォーム画面からの表示

1 Othersをクリックします。
その他の設定画面の最上部の［機器情報］に、機種名、バージョン、MACアドレス、製品番号が表示されます。

本機を初期化しよう

本機の動作に異常があるときや、使用環境が変わったときなどは、設定を出荷時の設定に戻すことができます。

初期化を行うと、以下の項目がクリアされます。
初期化したときは以下の設定を再度やり直してください。
・インターネットラジオモードのプリセット
・ローカルネットワークプレイモードのプリセット
・ネットワークの設定
・ネットワークストレージの設定
・無線LANの設定
・その他の設定
・高度な設定

本機からの設定

1 MENUボタンを2秒以上長押しして、設定メニュー画面を表示します。

2 設定メニュー画面で「その他の設定」を表示させ、▶/II ボタンを押します。

3 「設定の初期化」を表示させ、▶/II ボタンを押します。
初期化設定画面に切り替わります。

4 任意の処理を表示させ、▶/II ボタンを押します。
初期化するときは「全て初期値に戻す」を選択します。
「初期化しない」を選択すると操作を中止します。

5 再度「初期化を実行」の確認画面が表示されるので、▶/II ボタンを押します。
初期化が実行されます。
BACKボタンを押すと初期化をキャンセルします。

6 BACKボタンを2回押して元のモードの画面に戻ります。

設定フォーム画面からの設定

1 Othersをクリックします。

2 [全ての設定を初期状態に戻す] をクリックします。
初期化が実行されます。

ログイン情報を設定しよう

設定フォーム画面でログインに必要なユーザー名（ID）とパスワードを設定します。
本設定は設定フォーム画面からのみ行うことができます。
本機のキー操作では設定できません。

設定フォーム画面からの設定

1 ログイン後、Othersをクリックします。

2 [ログイン情報の設定] の「ユーザー名」と「パスワード」に新しいユーザー名（ID）、パスワードを入力し、[ID/パスワードを変更する] をクリックします。
ここで設定したユーザー名とパスワードは、次回のログイン時から有効となります。

詳細設定について

本設定の変更はユーザーレベルでは行いません。
この設定を変更すると正しく動作しなくなるおそれがあります。

本機の設定メニューにある［高度な設定］も同じ内容を表示します。
この設定もユーザーレベルでは行いません。

その他の設定について

以下の設定については、本機のキー操作のみで行うことができます。設定フォーム画面からは設定できません。

ヘッドホン音量の調節

前面パネルにあるヘッドホン端子からの出力音量を大、中、小の3段階に変更することができます。

◆調節方法

1 MENUボタンを2秒以上押して、設定メニュー画面を表示します。

2 設定メニュー画面で、「その他の設定」を表示させ、▶/II ボタンを押します。

3 「ヘッドホン音量」を表示させ、▶/II ボタンを押します。
ヘッドホン音量の設定画面に切り替わります。

4 任意の音量（大／中／小）を表示させ、▶/II ボタンを押します。
選択した音量がヘッドホン端子からの出力音量として設定されます。

5 BACKボタンを2回押すと元のモードの画面に戻ります。

MEMO ここで設定した音量は、背面のオーディオ端子出力には影響しません。

表示濃度の調節

液晶画面の濃さを調整します。

◆調節方法

1 MENUボタンを2秒以上押して、設定メニュー画面を表示します。

2 設定メニュー画面で、「その他の設定」を表示させ、▶/II ボタンを押します。

3 「表示濃度」を表示させ、▶/II ボタンを押します。
表示濃度設定画面に切り替わります。

4 I◀◀ ボタンまたは ▶▶I ボタンを押して表示濃度を調整します。

淡：
中：
濃：

5 ▶/II ボタンを押します。
選択した表示濃度が液晶画面の濃さとして設定されます。

6 BACKボタンを2回押すと元のモードの画面に戻ります。

バックライトの明るさ調節

液晶画面のバックライトの明るさを調整します。

◆調節方法

1 MENUボタンを2秒以上押して、設定メニュー画面を表示します。

2 設定メニュー画面で、「その他の設定」を表示させ、▶/II ボタンを押します。

3 「バックライト」を表示させ、▶/II ボタンを押します。
バックライト設定画面に切り替わります。

4 I◀◀ ボタンまたは ▶▶I ボタンを押して表示明度を調整します。

5 ▶/II ボタンを押します。
選択した表示明度が液晶画面のバックライトの明るさとして設定されます。

6 BACKボタンを2回押すと元のモードの画面に戻ります。

スクロール速度の調節

情報表示エリアの文字スクロール速度を早い、遅い、通常の３段階に変更することができます。

◆調節方法

1 MENUボタンを2秒以上押して、設定メニュー画面を表示します。

2 設定メニュー画面で、「その他の設定」を表示させ、▶/II ボタンを押します。

3 「スクロール速度」を表示させ、▶/II ボタンを押します。
スクロール速度設定画面に切り替わります。

4 任意のスクロール速度（早い／通常／遅い）を表示させ、▶/II ボタンを押します。
選択した速さが情報表示エリアの文字スクロール速度として設定されます。

5 BACKボタンを2回押すと元のモードの画面に戻ります。

本機のバージョンアップ

本機で使用しているファームウェアのバージョンを最新のものに更新します。
ファームウェアは不定期に更新されますので、BiBio ホームページ（http://bibio.jp）で最新のファームウェアバージョンをご確認ください。
本機のバージョンの確認は『機器情報を表示しよう（P.27 ）』を参照してください。

◆更新方法

1 **MENUボタンを2秒以上押して、設定メニュー画面を表示します。**

2 **設定メニュー画面で、「バージョンアップ」を表示させ、▶/II ボタンを押します。**

3 再度、**▶/II ボタンを押します。**

4 **「実行する」を表示させ、▶/II ボタンを押します。**
「本当に実行しますか?」と表示されます。

5 **▶/II ボタンを押します。**
「バージョンアップの実行」が表示されます。

6 **▶/II ボタンを押します。**
バージョンアップ処理が開始されます。処理が終了するまでおよそ3分かかります。バージョンアップが正常に終了すると、「SUNTAC」のロゴが表示され、元のモードの画面に戻ります。

⚠注 意　処理の実行中は電源を切らないでください。正常に処理が行われず、本機が故障する場合があります。

MEMO　すでに本機のファームウェアが最新のバージョンになっている場合は、「バージョンアップの必要がありません」と表示されます。

本機で文字を入力する

■文字の入力方法

1 入力が必要な項目の文字入力位置にカーソルを移動させます。

2 入力する文字をMODEボタンまたはMENUボタンで選択します。

MODEボタンを押すと、ABC…のように正順で文字が変わります。
MENUボタンを押すと、¥&"…のように逆順で文字が変わります。
いずれのボタンも押し続けると、カーソルの文字が自動で送られます。
現在入力中の文字を消去する場合はPRESETボタンを押します。
カーソルより右側の文字列をすべて消去する場合はPRESETボタンを長押しします。

MEMO 入力できる文字は以下のとおりです（すべて半角)。
A～Z、a～z、0～9、. @ / ! ? ( ) , - : ´ " & ¥ （半角スペース）

3 ▮◀◀ ボタンまたは ▶▶▮ ボタンを押してカーソルを移動させます。

4 すべての入力が完了したら ▶/▮▮ ボタンを押します。

■ IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS アドレスの入力方法

1 数値入力位置にカーソルを移動させます。

2 入力する数値をMODEボタンまたはMENUボタンで選択します。

MODEボタンを押すと000から順に255まで正順で文字が変わります。
MENUボタンを押すと255から順に000まで逆順で文字が変わります。
いずれのボタンも押し続けると、カーソルの文字が自動で送られます。

3 ▮◀◀ ボタンまたは ▶▶▮ ボタンを押してカーソルを移動させます。

4 すべての入力が完了したら ▶/▮▮ ボタンを押します。

トラブル対処法

現象	対処法
POWER インジケータが点灯しない	・本機の AC 電源入力端子に AC アダプタのプラグがきちんと接続されているか確認してください。 ・家庭用電源コンセントに AC アダプタが差し込まれているか確認してください。 ・電源ボタンをもう一度押してください。
インターネットラジオが聴けない	・本機の LAN ケーブル差込口に LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ・本機と他の機器との接続方法を各々の説明書を参照して確認してください。 ・操作パネルのLANインジケータが点灯または点滅しているか確認してください。消灯している場合は LAN ケーブルの接続を確認してください。 ・操作パネルのインターネットラジオモードインジケータが点灯しているか確認してください。 MODE ボタンでモードを切り替えてみてください。 ・ファイヤーウォールなどのセキュリティをサーバーやルータに設定されている場合、ポートの設定によってはインターネットラジオを聴くことができない場合があります。その場合はフィルタの設定を変更してみてください。
LAN ケーブル、LAN インジケータの確認はできているが TOP MENU 画面が表示されない。	・ブロードバンドモデムが正しく接続されているか確認してください。 ・ルータが正しく接続されているか確認してください。また正しく設定されているか確認してください。 ・PPPoE を必要とするプロバイダへはルータを使用する必要があります。
インターネットラジオを聴くことはできるが、音が途切れる。	・インターネット上のトラフィックが混雑しているなどの問題で、送信されるデータが再生に間に合わないことが考えられます。「高度な設定」の中の「PRE BUFFER SIZE」を大きくしてください。ただし、本設定を行うと音楽などの再生が開始されるまでの時間が長くなります。この現象は、基本的に送信データの転送速度が遅いことに起因するため、トラフィック混雑時のデータ量の多い楽曲などについては根本的な解決ができません。接続する時間帯を変更する、他の曲を選択するなどの方法で問題を回避してください。

現象	対処法
ネットワークストレージモードで設定したフォルダが表示されない。	・本機の LAN ケーブル差込口に LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ・本機と他の機器との接続方法を各々の説明書を参照して確認してください。 ・操作パネルのLANインジケータが点灯または点滅しているか確認してください。消灯している場合は LAN ケーブルの接続を確認してください。 ・操作パネルのローカルネットワークプレイモードインジケータが点灯しているか確認してください。 MODE ボタンでモードを切り替えてみてください。 ・ネットワークストレージ（NAS やパソコン）の電源が入っているか確認してください。 ・ネットワークストレージ（NAS やパソコン）が正しくネットワークに接続されているか確認してください。 ・「ネットワークストレージの設定」が正しくされているか確認してください。
フォルダ名、ファイル名が正しく表示されない。	・ファイル名の長さは拡張子 .MP3 を含めて 64 文字までです。それ以上の長さの場合は表示されません。 ・拡張子 .MP3 が無いファイルは表示されません。 ・漢字（JIS 第一水準、第二水準）、英字（全角、半角）、数字、記号以外の文字は正しく表示されません。
プリセットに登録した局を聴こうとしたしたが、接続できない。	・登録した局のサーバが停止している可能性があります。 ・登録した局のアドレスが間違っている可能性があります。 ・トラフィックが混雑している可能性があります。しばらくしてから再度接続してください。
「接続できませんでした」が表示される。	・インターネット上の何らかの問題により、データが受信できないときに発生します。再度接続してください。 ・何度接続を試しても同じエラーが発生する場合はサーバが停止しているか、トラフィックの状態が悪いと考えられます。しばらくしてから、再度接続してください。 ・本機の LAN ケーブル差込口に LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ・無線 LAN カードをお使いの場合は CF カードがしっかり差し込まれているか確認してください。 ・ホスト名、共有フォルダ名を確認してください。 ・NAS やパソコンの共有フォルダの設定を確認してください。 ・NAS やパソコンの接続と電源を確認してください。
「CONNECTING…」が表示されたが接続できない。	・本機の LAN ケーブル差込口に LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ・ネットワークの設定が正しく設定されているか確認してください。 ・無線 LAN カードをお使いの場合は CF カードがしっかり差し込まれているか確認してください。 ・無線LANカードの設定が正しく設定されているか確認してください。

現象	対処法
「フォルダ、MP3 ファイルがありません」が表示される。	・ローカルネットワークプレイモードで、選択フォルダの中にフォルダやMP3 ファイルがありません。フォルダやMP3 ファイルが存在しているか確認して再度アクセスしてください。
「Network 接続できません」が表示される。	・LAN ケーブル又は CF カードが正しく接続されていることを確認してください。
「ホストを見つけることができません」が表示される。	・ローカルネットワークのホスト名や共有フォルダ名がネットワーク上に存在しない又は間違っているときに表示されます。ホスト名と共有フォルダ名を確認してください。 ・ネットワークストレージの電源、LAN 接続状態を確認してください。
「ネットワークドライブが設定されていません」が表示される。	・ネットワークドライブの設定が何もされていないときに表示されます。 ・ネットワークドライブの設定を行ってください。
「フォルダ情報が取得できませんでした」が表示される。	・フォルダ情報が取得できません。ネットワークドライブの設定を確認してください。
「MP3 ファイルを探しています…」が表示されたままになる。	・選択したフォルダの中にMP3ファイルが存在しているか確認してください。
「ファイル情報が取得できませんでした」が表示される。	・LAN ケーブル又は無線 LAN カードが正しく接続されているか確認してください。 ・パソコン又は NAS の電源は入っているか、接続されているか確認してください。 ・再生中にMP3ファイルを削除していると表示されない場合があります。 これらを再度確認してください。
「これ以上進めません !」が表示される。	・パスの長さが 128 文字を超えたときに表示されます。これより下の階層に進むことができません。下の階層に進むときは共有フォルダを下の階層に変更してください。

仕様一覧

項目		内容
入出力 インタフェース	LANコネクタ イーサネット	10BASE-T(IEEE802.3)　RJ45
	LINE OUT	φ3.5ステレオホンジャック
		RCAピンジャック白（LEFT）
		RCAピンジャック赤（RIGHT）
	電源ジャック	DC5V
	赤外線IN	リモコン操作入力
	赤外線OUT	リモコン信号出力
	CF I/F	コンパクトフラッシュに準拠。 ただし無線LANカードのみ対応。
MP3仕様	周波数帯域	20～20000Hz
	S/N比	87dB 最大値
	ビットレート	8k～320k bps
	サンプリング周波数	44.1kHz
表示	液晶表示	128×32 dot 白黒表示（バックライト付）
消費電力		1.5VA　※無線LANカード未使用時
寸法		60(H)×186(W)×150(D)mm（突起部含む）
重さ		0.8 kg（ACアダプタ除く）
環境条件		温度：　5～40℃ 湿度：20～85%（結露なきこと）

索引